

NYDA0131AAA

JJ



takagi

キレイスト シングルレバー洗面混合水栓

取扱説明書

WU

■ 安全上のご注意 p.1

■ 各部の名称・特徴 p.9

■ 使い方 p.10

初めてお使いいただく前に p.10

適温調節 p.10

水栓の使用方法 p.11

ヘッド部の使用方法 p.12

■ 凍結予防について p.13

通常仕様の凍結予防 p.13

寒冷地仕様の凍結予防 p.13

■ お掃除・お手入れの仕方 p.15

お掃除・お手入れについて p.15

吐水部、ストレーナのお掃除 p.17

吐水部のお掃除の仕方 p.17

ストレーナのお掃除の仕方 p.20

その他の部位のお掃除の仕方 p.23

定期的な点検 p.24

■ 故障かな?と思ったら p.25

緊急時の水の止め方 p.25

お問い合わせの前に p.25

■ 分解図 p.28

■ 補修部品 p.29

■ 製品の点検・交換スケジュール p.30

■ 商品仕様 p.31

■ 保証書 p.32

はじめに

使い方

お手入れ

こんなときは

その他

■アフターサービスについて

本商品に関する事柄は、当社までお気軽にお問い合わせください。

- ・水栓の修理や設置
- ・破損した部品の交換
- ・その他お問い合わせ

タカギ・コミュニケーションセンター

ミズはよい水

通話料
無料

0120-328-413

受付時間 8:30~18:00(年中無休)

※受付時間外でも、修理など緊急の際は音声ガイダンスより専用番号をご案内いたします。

<https://www.takagi.co.jp/>

株式会社 タカギ

このたびは、タカギのキレイスト シングルレバー洗面混合水栓をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。ご使用前にこの取扱説明書と保証書の内容をよくお読みのうえ、正しく使用してください。

その後大切に保管し、わからないときは再読してください。

安全上のご注意

はじめて

ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるように大切に保管してください。
- この説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

 警告	この表示を守らずに誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定されている内容を示しています。
 注意	この表示を守らずに誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定されている内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	 記号は、してはいけない「禁止」行為であることを示しています。
	 記号は、触れてはいけない「接触禁止」を示しています。
	 記号は、してはいけない「分解・改造禁止」を示しています。
	 記号は、必ず実行していただく「強制」内容を示しています。

はじめて

警告 けがをするおそれがあります



接触禁止

メッキ面が剥がれた場合は、剥がれた所を触らずに修理を依頼してください。
(メッキ部品に鋭利な物や硬い物を当てるとそこから腐食などが進行しメッキ面が剥がれ、けがをするおそれがあります)



あぶない!

警告 やけど・けがをするおそれがあります



禁止

小さなお子様だけでのご使用は避けてください。
やけど・けがをするおそれがあります。

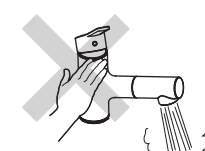


警告 やけどをするおそれがあります

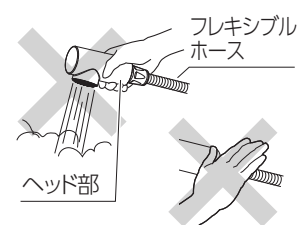


接触禁止

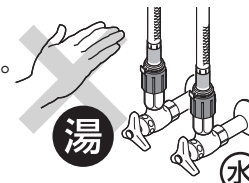
水栓に向かって左側には直接触らないでください。
給湯側のため高温になっており、やけどをするおそれがあります。



高温の湯を使う場合または長時間湯を流し続けるとヘッド部やフレキシブルホース、接続部などが熱くなり、やけどをするおそれがあります。
直接触らないでください。



湯側の配管には直接触らないでください。やけどをするおそれがあります。

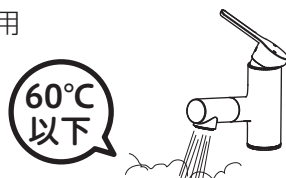


安全上のご注意

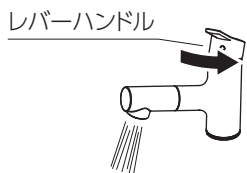
は
じ
め
に

⚠ 警告 やけどをするおそれがあります(つづき)

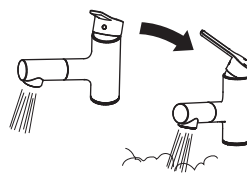
湯をご使用の場合は60℃以下で使用してください。



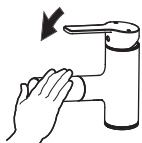
高温の湯を使用したあと、次に使用する際に高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。
必ずレバーハンドルを水側に戻し、高温の湯が出なくなるまで吐水してください。



湯を使うときは、必ず水側から吐水し、ゆっくり湯側に回して温度を調節してください。



ヘッド部を掃除する際は、レバーハンドルで止水し、ヘッド部とフレキシブルホースが熱くないことを確認してください。



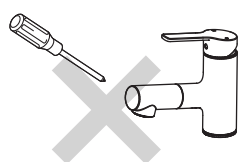
正常な温度調節を行うために、給湯圧力を給水圧力より低くするか、同圧にしてください。給湯圧力を加圧する場合も同様です。

⚠ 警告 けがや水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります



分解・改造
禁止

分解はp.15～p.24「お掃除・お手入れの仕方」で記載された項目以外はしないでください。故障や水漏れの原因になります。

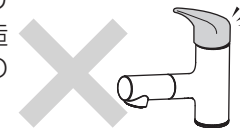


⚠ 警告 けがや水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります(つづき)



分解・改造
禁止

この商品を構成する部品以外の取り付けや、部品の取りはずしなどの改造はしないでください。故障や水漏れの原因になります。



必ず実行

長期にわたるご使用により、部品が劣化・摩耗などで破損する可能性があります。
定期的に(2回以上/年)キャビネット内や点検口内など、配管周りのガタツキや水漏れがないか確認してください。



⚠ 警告 逆流するおそれがあります



必ず実行

ネジ式カプラおよび逆止弁付き水抜き継手は、3～5年毎に交換をしてください。

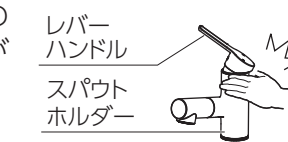


⚠ 注意 けがをするおそれがあります



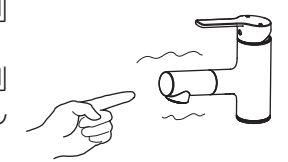
接触禁止

レバーハンドルとスパウトホルダーの間に指をはさみ、けがをするおそれがあります。



必ず実行

ガタツキなどの異常を放置すると、部品の破損やメッキ部品の表面が割れ、けがをするおそれがあります。
万一、部品の破損やメッキ部品の割れを発見した場合は、修理を依頼してください。

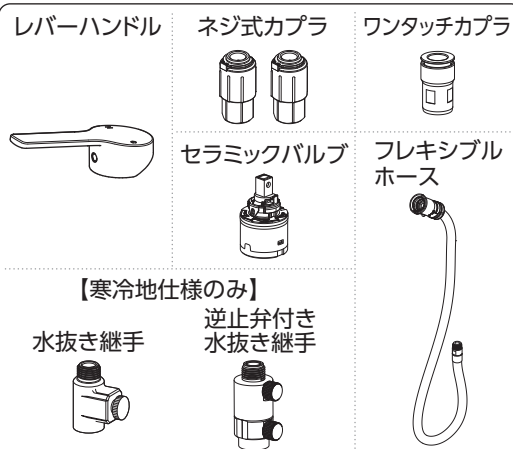
は
じ
め
に

安全上のご注意

は
じ
め
に

⚠ 注意 水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります

消耗品も、定期的な交換が必要です。
※シリーズによって部品の形状は異なります。



※詳しくはp.28「分解図」、p.29「補修部品」ならびにp.30「製品の点検、交換スケジュール」を参照してください。



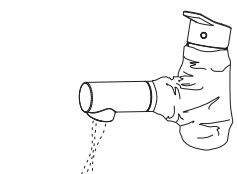
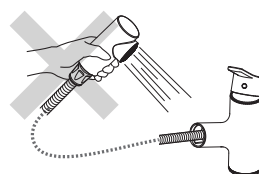
必ず実行

水かけ
禁止

必ず実行

凍結が予想される際は、室温を下げないようにして水栓を布などの保温効果のあるもので包むか、水栓から少量の水を流し続けてください。
※p.13～p.14「凍結予防について」を参照してください。

レバーハンドルを勢いよく閉めると、配管を破損し、水漏れを起こすことがあります。ゆっくり操作してください。

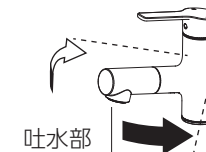


⚠ 注意 水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります (つづき)



必ず実行

この水栓は、構造上左右に可動します。洗面器より吐水部がはみ出す場合がありますので、ご使用の際は吐水部の位置を確認してから水を出してください。

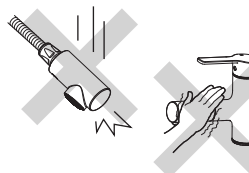


⚠ 注意 故障や水漏れの原因になります

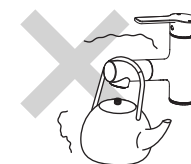


禁 止

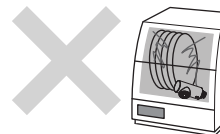
ヘッド部を落としたり、ヘッド部や本体部に強い力や衝撃を与えたりしないでください。



ヘッド部やレバーハンドルに重い物を下げたり、力をかけて回したりしないでください。部品の破損の原因になります。



ヘッド部を取りはずし、食器洗い乾燥機などで洗わないでください。



⚠ 注意 故障の原因になります



必ず実行

給湯温度は60℃以下で使用してください。60℃を超える高温で使用すると、製品の破損や変形により、機能を損なうおそれがあります。

は
じ
め
に

安全上のご注意

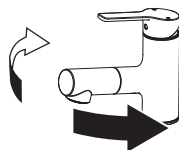
はじめに

⚠ 注意 故障の原因になります(つづき)



必ず実行

可動部分が固くて動きが悪い場合は、水アカの固着や潤滑剤切れの可能性がありま。そのまま放置すると故障の原因になりますので、修理を依頼してください。

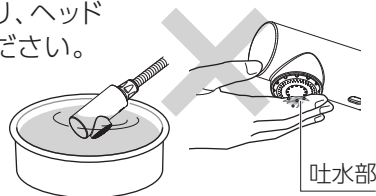


⚠ 注意 体調を損なうおそれがあります



禁止

吐水部を汚れた手で触れたり、ヘッド部を水没させたりしないでください。雑菌が増えやすくなります。



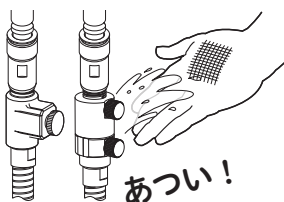
寒冷地仕様

⚠ 警告 やけどや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります



禁止

水抜き継手(または逆止弁付き水抜き継手)は、水抜き以外の目的で開けないでください。また、湯側の水抜きをする場合は、事前に湯側で吐水して、高温の湯が出ないことを確認してから水抜きを行ってください。

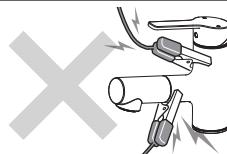


⚠ 注意 家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります



禁止

解氷機をご使用の場合、水栓には絶対に通電しないでください。水栓が通電による発熱で破損するおそれがあります。



⚠ 注意 故障の原因になります



必ず実行

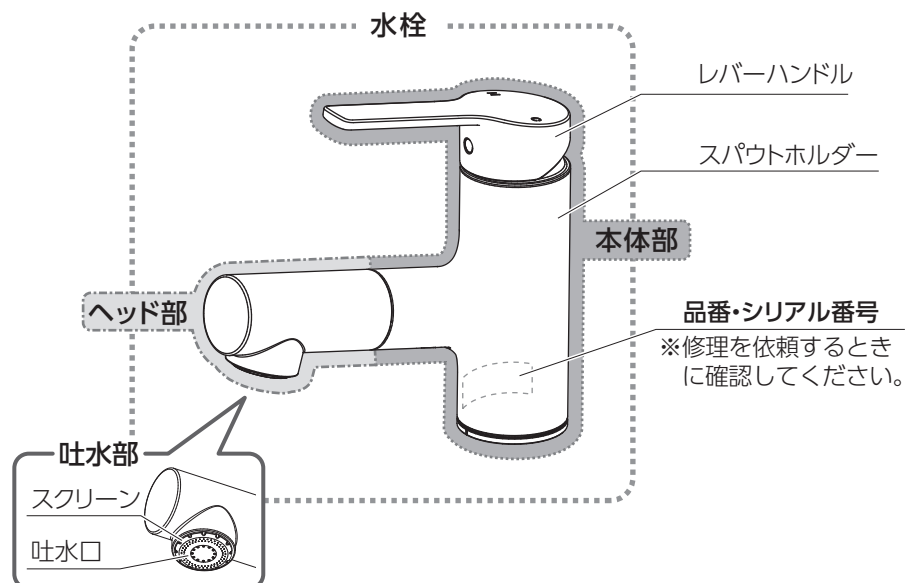
凍結が予想される場所でご使用になる場合は、p.13～p.14「凍結予防について」を参照し、確実に実施してください。



はじめに

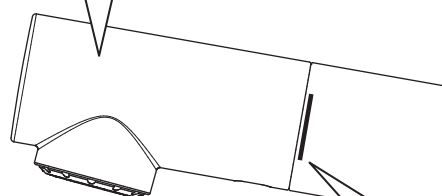
各部の名称・特徴

各部の名称



特徴

引き出して使える
ヘッド部を引き出して使えるから、洗面台のお掃除も簡単にできます。



ストレーナ
大きなゴミを除去します。

使い方

初めてお使いいただく前に

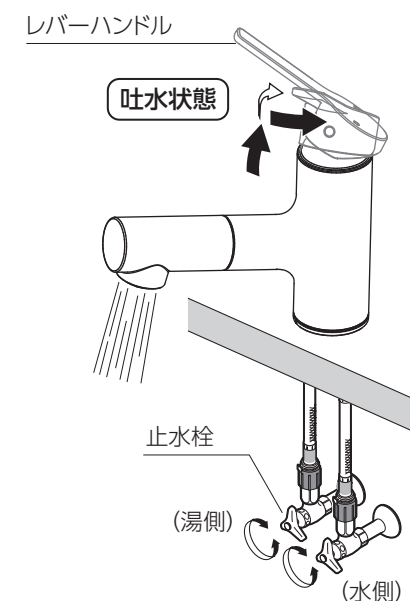
- ・最初に、水道水の濁りがなくなるまで水を流してください。
- ・正常に吐水することをご確認いただき、吐水部、ストレーナの掃除をしてください。(p.17～p.22「お掃除・お手入れの仕方」を参照してください)

⚠ 注意 配管中のゴミやサビなどが流れ出て、吐水口やストレーナが詰まったりするなど、正常に吐水しない場合があります。

適温調節

調節の仕方

使用時、水側全開および湯側全開のときの吐水量が最適となるように、水側・湯側の2つの止水栓を調節してください。

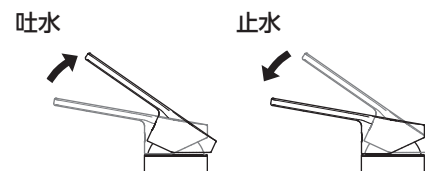


使い方

水栓の使用方法

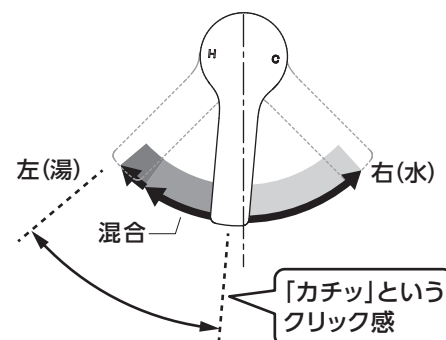
吐水・止水・流量調節

レバーハンドルを上げると吐水、下げると止水します。



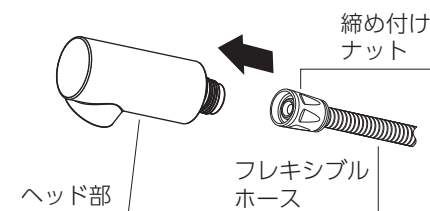
温度調節

レバーハンドルを向かって右へ回せば水に、左へ回すと次第に温度が上がります。左側いっぱい回すと、最高温度になります。レバーハンドル中央位置では、水が出ることで、気づかずに湯が出ることを防ぎます。(ムダなお湯を使わないための機構です)

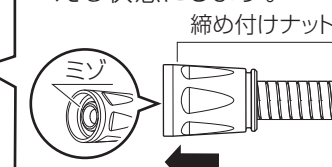


ヘッド部の使用方法

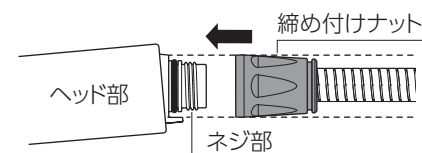
取り付け方



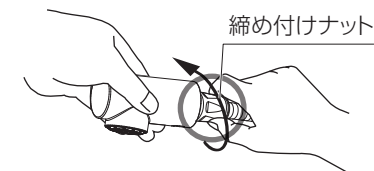
① 締め付けナットを引っ張り、ネジ部のミズが見える状態にします。



② ヘッド部を持って、締め付けナットをネジ部にまっすぐ入れます。

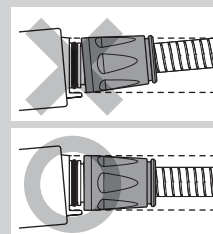


③ ヘッド部を固定して締め付けナットを回転させて取り付けます。



⚠ 注意

締め付けナットは斜めに取り付けしないでください。ヘッド部側のネジ山が削れて故障や水漏れの原因になります。

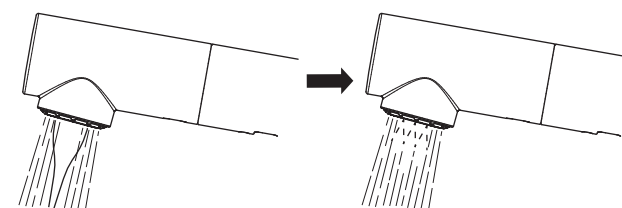


⚠ 注意

- フレキシブルホースを回転させて取り付けるとフレキシブルホースがねじれ、故障の原因になります。
- 故障の原因となるため、工具を使って締め付けしないでください。

水形について

水形が重なった場合、止水栓を絞って調整してください。



水形が重なった状態

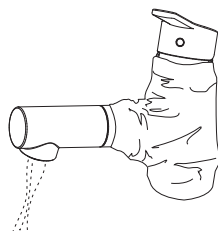
凍結予防について

- 水栓が凍結すると部品が破損し水漏れの原因となりますので注意してください。
- 凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。
- 凍結のおそれがある場合は水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。氷点下になる場合は、次の処置を行ってください。

通常仕様の凍結予防

以下の処置を行うと凍結を予防できる場合があります。

- できるだけ室温を下げないようにして、水栓を布などの保温効果のあるもので包む。
 - レバーハンドル位置を混合域にし、水栓から少量の水を流し続ける。
- ※レバーハンドル位置はp.11「水栓の使用方法」を参照してください。



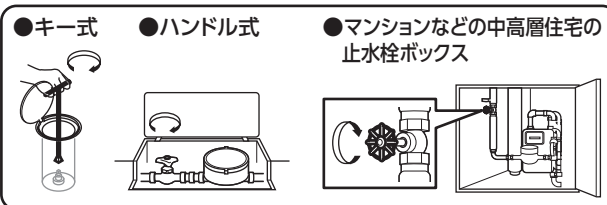
寒冷地仕様の凍結予防

※水抜き継手/逆止弁付き水抜き継手の作業手順は①～③まで共通です。

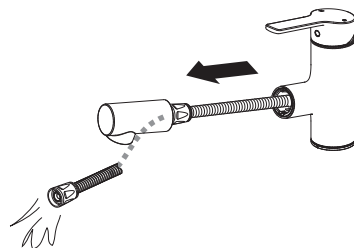
水抜きの仕方

①配管部の止水栓などにより通水を止めて、水抜きを行います。

※レバーハンドルを上げ左右に動かし、水側・湯側どちらも止水していることを確認してください。

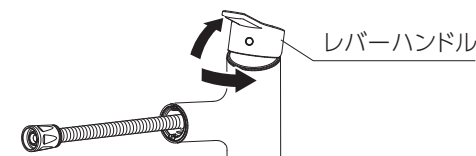


②ヘッド部を最大限に引き出し、ヘッド部をはずした状態で洗面器に置いてください。



ヘッド部の取りはずし方はp.17を参照してください。

③レバーハンドルを上げ、水側いっぱいに回します。



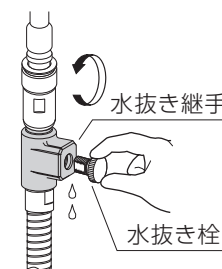
④水抜き栓を図のようにはずし、フレキシブルホース及び水栓の水を十分に抜いてください。

※水抜き栓の紛失にご注意ください。

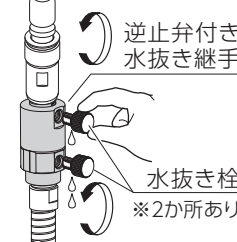
※このとき水抜き継手から水が出てきます。ふきんや受け皿などで受けてください。

※水抜き継手は仕様によってどちらかになります。

水抜き継手の場合

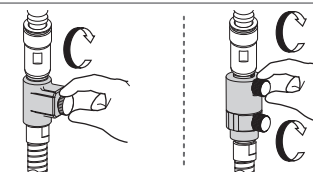


逆止弁付き水抜き継手の場合



⑤水が完全に出なくなったら、図のように水抜き栓を取り付けます。

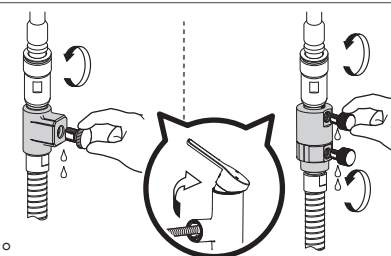
※水抜き継手を動かすなどして、無理やり水を出さないでください。



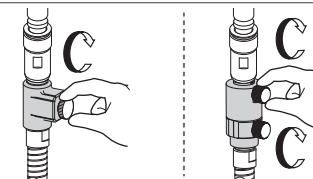
⑥レバーハンドルを上げたまま湯側いっぱい回したあと、水抜き栓をはずし、フレキシブルホース及び水栓の水を十分に抜いてください。

※水抜き栓の紛失にご注意ください。

※このとき水抜き継手から水が出てきます。ふきんや受け皿などで受けてください。



⑦水が完全に出なくなったら、図のように水抜き栓を取り付けます。その後、レバーハンドルを止水状態にし、ヘッドを元に戻してください。



⑧再使用時に配管部の止水栓などにより通水を再開し、水漏れがないことを確認してください。

お掃除・お手入れの仕方

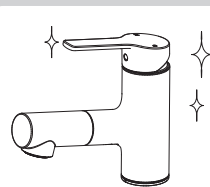
お掃除・お手入れについて

水栓をいつまでも美しく快適に使用するために、日頃からお掃除・お手入れを行ってください。

水栓の汚れは柔らかい布を水で濡らし、固く絞って拭きあげ、最後に乾いた布で水滴を拭きとってください。

水栓をきれいに保つためのコツ

水仕事が終わったあと、水栓に水滴を残したままにしておくと水道水中のミネラル分(カルシウム、マグネシウムなど)やホコリが乾燥し、水アカとなって付着してしまうことがあります。一日の水仕事のあとに、乾いた布などで水滴を拭き取ることできれいな状態を維持できます。

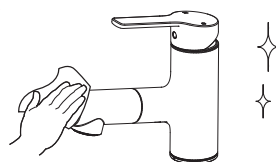


⚠️ 注意 水栓が傷つく原因になります



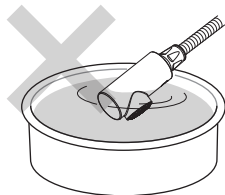
必ず実行

水栓を拭くときは、必ずやわらかい布をご使用ください。



禁止

ヘッド部を水や漂白剤などに漬けないでください。付着した汚れが通水部に浸入したり、メッキ部分が破損したりするおそれがあります。

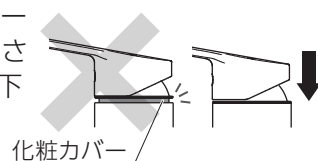


⚠️ 注意 故障や水漏れの原因になります



必ず実行

お手入れなどで本体部の化粧カバーが浮いた場合は、押し込んでください。水が本体内部をつたい、洗面台下に漏れることがあります。



化粧カバー

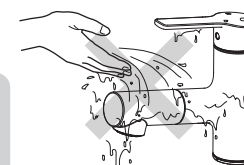
⚠️ 注意 故障や水漏れの原因になります(つづき)



禁止

ヘッド部やレバーハンドルを丸洗いしたり、直接水をかけたりしないでください。

泡がついた場合は、柔らかい布を水で濡らし固く絞って拭きあげ、最後に乾いた布で水滴を拭きとってください。



ヘッド部は完全に密閉されていない為、水が浸入します。ヘッド部に直接水をかけたり、水没させたりしないでください。



⚠️ 注意 水栓の故障や傷つく原因になります



禁止

磨く場合には清潔な柔らかい布で拭いてください。金属たわしやナイロンたわし、クレンザー、メラミンスポンジなどは使わないでください。



クレンザー 汚れた布巾

※メッキ表面が傷つき、製品の破損や故障の原因になります。メッキ表面が傷つくと傷に汚れがたまり、それまで以上に汚れ易くなる可能性があります。



ナイロンたわし
メラミンスポンジ
金属たわし

洗剤(酸性・アルカリ性)、油、ワックス、シンナー、ベンジン、漂白剤などを使用すると、薬品が水栓を侵し、破損や故障の原因となるおそれがあります。使用しないでください。



酸性洗剤
アルカリ性洗剤 漂白剤

※間違えて使用した場合は、柔らかい布を水で濡らし固く絞って拭きあげ、最後に乾いた布で水滴を拭きとってください。

お掃除・お手入れの仕方

吐水部、ストレーナのお掃除

吐水部やストレーナおよび各接続部は水アカなどで目詰まりを起こしたり、動きが悪くなったりすることがあります。

機能低下を防止するため、定期的にお掃除を行ってください。

※p.17～p.24「お掃除・お手入れの仕方」を参照してください。

※お掃除の際は、小さな部品の紛失・組み忘れに注意してください。

吐水部のお掃除の仕方

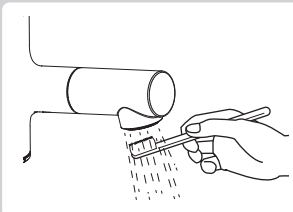
水形が乱れたり、吐水口の網が汚れたりした場合は、以下の手順で吐水部のお掃除を行ってください。

日頃のお手入れは・・・

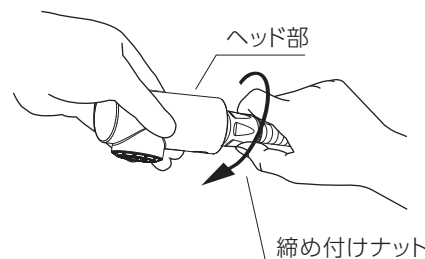
水を少量流しながら、スクリーンを清潔な歯ブラシなどでこすり、汚れを洗い流してください。

歯ブラシでこする際は、吐水部の穴の汚れをかき出すようにしてください。

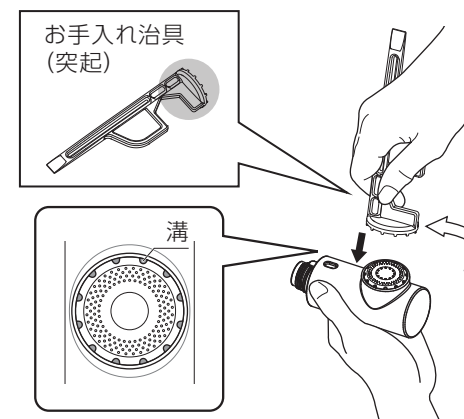
最後に清潔な乾いた布で水滴を拭きとってください。



- ①ヘッド部を固定して締め付けナットを回して取りはずします。



- ②付属のお手入れ治具の突起をスクリーンの溝にはめ込み、矢印の方向に回転させ、スクリーンを取りはずします。

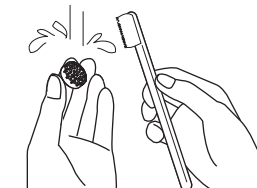


整流アダプターがヘッド側に残った場合

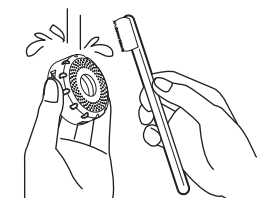
フレキシブルホースに接続し、レバーハンドルを少し開き水流の勢いではずしてください。その際、整流アダプターを、手のひらで受けてください。



- ③整流アダプターの汚れを歯ブラシなどでこすり洗いをして取り除きます。



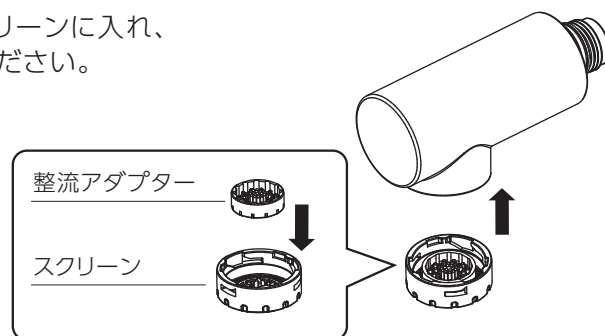
- ④スクリーンの汚れを歯ブラシなどでこすり洗いをして取り除きます。



お掃除・お手入れの仕方

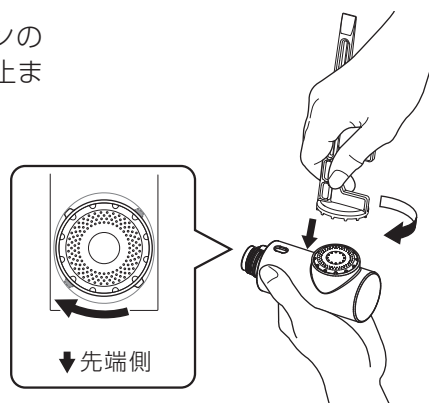
吐水部のお掃除の仕方(つづき)

- ⑤整流アダプターをスクリーンに入れ、ヘッド部に押し込んでください。

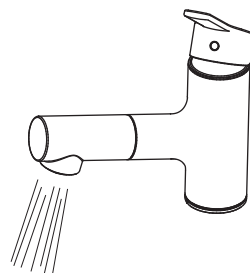


- ⑥お手入れ治具の突起をスクリーンの溝にはめ込み、②とは反対方向へ止まるまで回します。

※お手入れ治具は図の向きで差し込んでください。ヘッド部を逆さにするとスクリーンが脱落します。



- ⑦ヘッド部を本体に取り付け、水形がきれいでいるか確認してください。



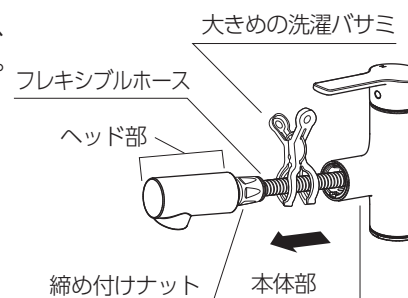
ヘッド部の取り付け方は p.12「ヘッド部の使用方法」を参照してください。

お手入れ

ストレーナーのお掃除の仕方

レバーハンドルを閉じた状態で、ヘッド部をフレキシブルホースからはずします。

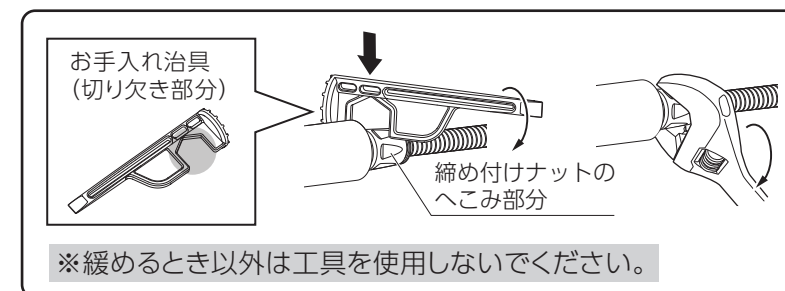
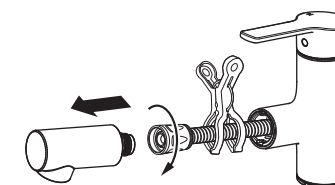
- ①図のようにヘッド部を少し引き出し、大きめの洗濯バサミを取り付けます。
※大きめの洗濯バサミを取り付けずにヘッド部のみはずしてしまうと、フレキシブルホースが本体部に入り込み作業がしにくくなります。



- ②締め付けナットを回して取りはずします。

※フレキシブルホースを回すとフレキシブルホースがねじれ、故障の原因となります。

※固く緩まないときは、締め付けナットのへこみ部分に、付属のお手入れ治具の切り欠き部分もしくは工具を引っかけて回し、緩めてください。



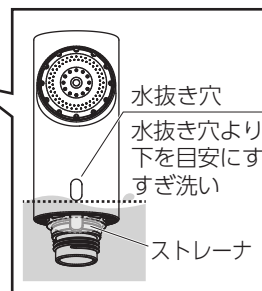
※緩めるとき以外は工具を使用しないでください。

お手入れ

お掃除・お手入れの仕方

ストレーナのお掃除の仕方(つづき)

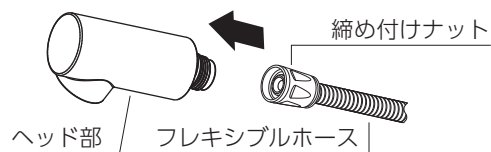
- ③洗面器などに水をため、ヘッドを立てた状態でストレーナをすすぎ洗います。ゴミが取れない場合は、綿棒などで軽くこすりゴミを取り除いてください。



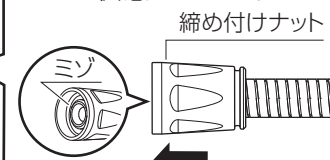
⚠ 注意

- ストレーナのフチに綿が引っかかりストレーナに残るおそれがあります。
- 綿棒で強くストレーナを押し付けるとストレーナが変形し、水の流れが悪くなるおそれがあります。

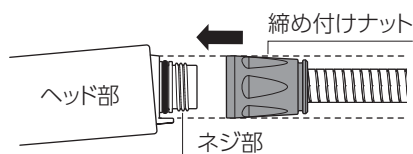
- ④はずした逆の手順で組み立てます。
※水漏れの原因となります。ヘッド部と締め付けナットはしっかり締め込んでください。



- ① 締め付けナットを引っ張り、ネジ部のミゾが見える状態にします。

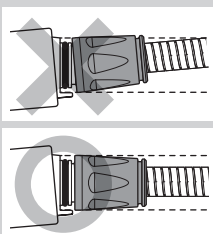


- ② ヘッド部を持って、締め付けナットをネジ部にまっすぐ入れます。

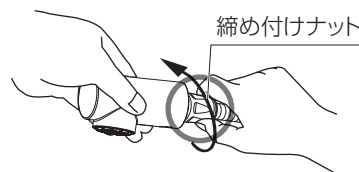


⚠ 注意

締め付けナットは斜めに取り付けしないでください。ヘッド部側のネジ山が削れて故障や水漏れの原因になります。



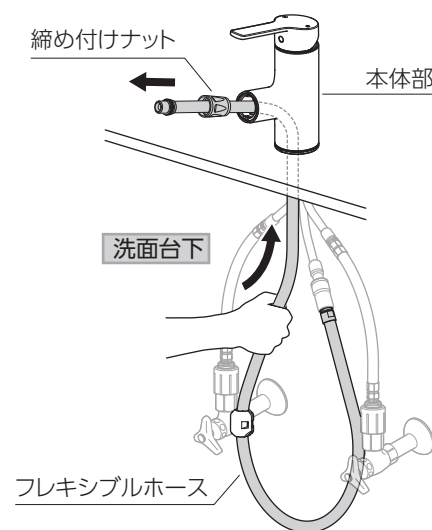
- ③ ヘッド部を固定して締め付けナットを回転させて取り付けます。



⚠ 注意

- フレキシブルホースを回転させて取り付けるとフレキシブルホースがねじれ、故障の原因になります。
- 故障の原因となるため、工具を使って締め付けしないでください。

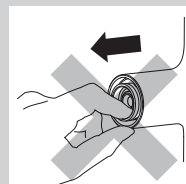
- ※フレキシブルホースの締め付けナットが本体部に入り込んだ場合は、洗面台下からフレキシブルホースを押し上げて、締め付けナットを押し出してください。



⚠ 注意

けがをするおそれがあります

締め付けナットの内側を指でさわらないでください。

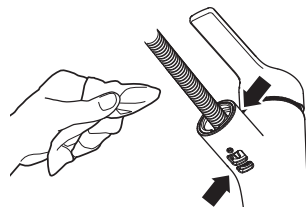


お掃除・お手入れの仕方

その他の部位のお掃除の仕方

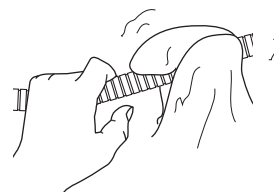
●スパウトホルダーのお掃除

スパウトホルダー内部も水が溜まりやすいため、清潔な乾いた布で水分を拭き取ってください。



●フレキシブルホースのお掃除

フレキシブルホースは、月に1回程度引き出し、清潔な布を水で濡らし、固く絞って拭き、最後に乾いた布で拭きあげてください。

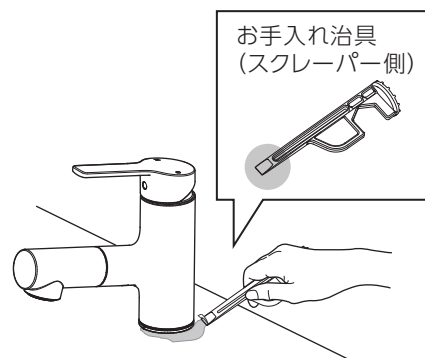


●本体部根元のお掃除

本体部の根本に汚れが溜まった場合は、付属のお手入れ治具のスクレーパー側を使用して、汚れを取り除いてください。

⚠ 注意

スクレーパー側が痛んだ場合は使用しないでください。洗面天板や本体部にキズがつく原因になります。



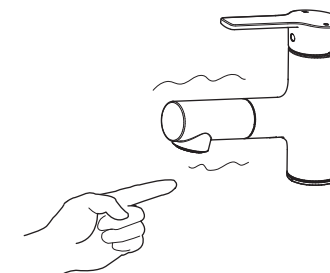
お手入れ

定期的な点検

水栓を安全・快適にご使用いただくために、定期的に点検をしてください。

●ヘッド部のガタツキ

ガタツキなどの異常を放置すると、部品の破損やメッキ部品の表面が割れ、けがをするおそれがあります。万一、部品の破損やメッキ部品の割れを発見した場合は、修理を依頼してください。



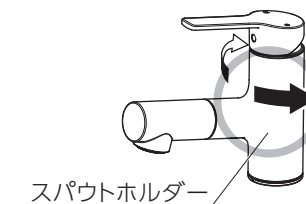
●配管周りの点検

長年にわたるご使用により、部品が劣化・摩耗などで破損する可能性があります。定期的に(2回以上/年)キャビネット内や点検口内など、配管周りのガタツキや水漏れがないか確認してください。



●スパウトホルダーを定期的に動かす

長時間動かさなかったときなど、水アカなどの付着によって動きが悪くなることがあります。スパウトホルダーを定期的に動かしてください。



※無理に動かそうとすると配管に負荷がかかり水漏れの原因になります。動きが悪い場合は、タカギ・コミュニケーションセンターまでお問い合わせください。

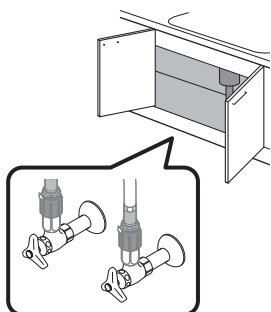
お手入れ

故障かな?と思ったら

緊急時の水の止め方

配管まわりの水漏れや水が止まらないなど、緊急を要するときは止水栓または水の元栓を閉めてください。

洗面台下の止水栓

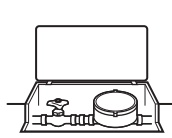


水の元栓

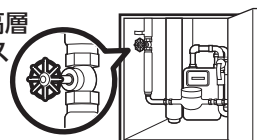
●キー式



●ハンドル式



●マンションなどの中高層住宅の止水栓ボックス



お問い合わせの前に

異常が生じた場合は次ページの確認内容を点検し、調整してください。

次ページの確認内容を点検し、調整して良くならない場合や、項目に当てはまらない現象が生じた場合はタカギ・コミュニケーションセンターまでご相談ください。

タカギ・コミュニケーションセンター

ミズはよい水

受付時間 8:30~18:00(年中無休)

※受付時間外でも、修理など緊急の際は音声ガイダンスより専用番号をご案内いたします。
<https://www.takagi.co.jp/>

通話料 無料 0120-328-413

【お知らせ】ウォーターハンマー(水撃)現象とは

急に水を止めたときに「ドン!」という大きな音がする現象です。ウォーターハンマー現象は配管や水圧など、さまざまな要因で発生し、水栓の不具合ではありません。配管の損傷や水漏れの原因となる場合がありますので、レバーハンドルをゆっくり閉め、ウォーターハンマー現象を発生させないように注意してください。

こんなときは

現象	確認内容	参照ページ
吐水量が少ない	止水栓が充分開いているか確認してください。	p.10
	吐水部またはストレーナが目詰まりしている可能性があります。目詰まりしている場合はお掃除をしてください。	p.17 と p.22
高温しか出ない	水側の止水栓が充分開いているか確認してください。	p.10
低温しか出ない	湯側の止水栓が充分開いているか、水側の止水栓を開けすぎているか確認してください。	p.10
	給湯器の温度設定が適切か確認してください。	—
	流量が少ないときにガス給湯器が着火しないことがあります。流量を多くするか給湯器の設定温度を下げてください。	—
温度調節がうまくできない	止水栓が充分開いているか確認してください。	p.10
	給湯器の温度設定が適切か確認してください。	—
吐水時にヘッド部が飛び出る	吐水部またはストレーナが目詰まりしている可能性があります。目詰まりしている場合はお掃除をしてください。	p.17 と p.22
	吐水部が目詰まりしている可能性があります。目詰まりしている場合はお掃除をしてください。	p.17 と p.19
斜めに水が出る	洗面台下でフレキシブルホースもしくはホースストッパーが配管などに引っかかっています。フレキシブルホースの引っかかりを直してください。	—

こんなときは

故障かな?と思ったら

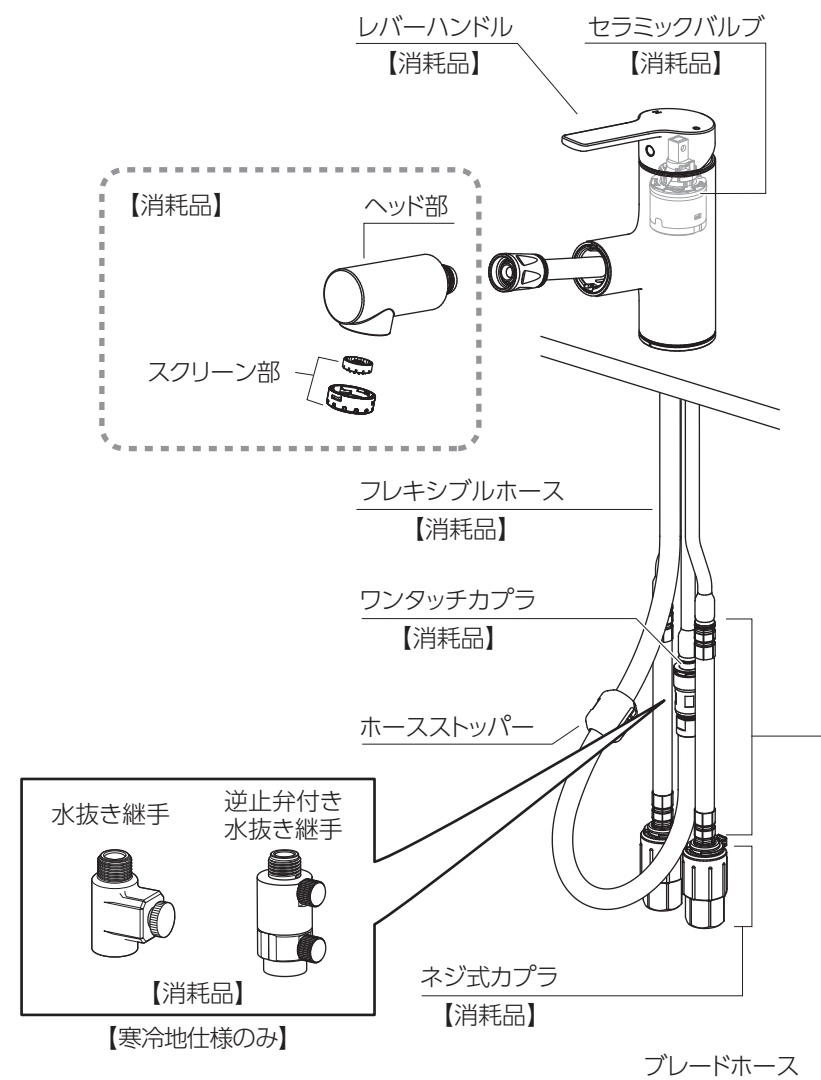
お問い合わせの前に(つづき)

現象	確認内容	参照ページ
本体部根元に水がたまる	拭き取っても根元に水がたまる場合は消耗品の摩耗や劣化が考えられます。タカギ・コミュニケーションセンターまでお問い合わせください。 ※このような現象はご使用期間が短い場合でも、ゴミなどが部品に噛み込んで発生する場合があります。	—
水を止めたあとに、少しの間水が垂れる	吐水部にゴミなどが目詰まりして、水の流れが変わり、止水時に水のきれが悪くなる場合があります。目詰まりしている場合はお掃除をしてください。	p.17 と p.19
スパウトホルダーの動きが悪い	スパウトホルダーを長期間動かさずに使用すると、可動部に水アカなどが付着し、動きにくくなります。定期的にスパウトホルダーを動かしてください。動きが悪い場合は、タカギ・コミュニケーションセンターまでお問い合わせください。	p.24
本体部の化粧カバーが浮いている	化粧カバーを元の位置に押し込んでください。水が本体内部をつたい、洗面台下に漏れることがあります。	p.15

分解図

末永くご利用いただくために、消耗品の定期的な交換が必要です。

※消耗品の交換は、お求めの取付店・販売店、またはタカギ・コミュニケーションセンターへご依頼ください。



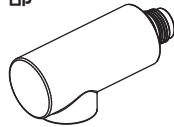
補修部品

製品機能の維持には欠かせない部品です。
ご不明な点はタカギ・コミュニケーションセンターへお問い合わせください。

※シリーズによって部品の形状は異なります。

お客様にて交換できる部品

■ヘッド部

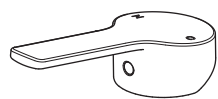


■スクリーン部



専門業者にて交換対応となる部品

■レバーハンドル



■セラミックバルブ



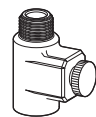
■ワンタッチカプラ



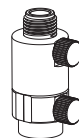
■フレキシブルホース



■水抜き継手



■逆止弁付き水抜き継手



■ネジ式カプラ



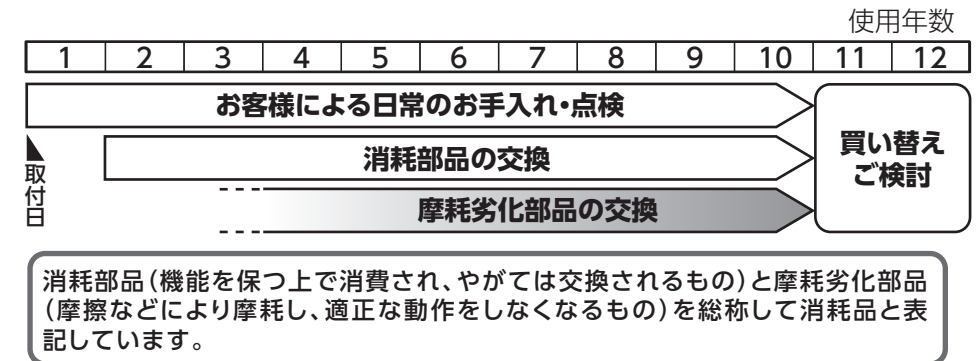
【寒冷地仕様のみ】

※仕様によって部品の種類はどちらかになります。

タカギに消耗品の交換や修理をご依頼の場合は、【出張料】+【技術料】+【部品代】の料金が必要です。

補修部品（機能維持に不可欠な部品で、使用期間中に取り替えが発生する可能性の大きいもの）の供給期間は製造打ち切り後10年です。

製品の点検・交換スケジュール



商品仕様

●水栓	
材料の種類	<原料樹脂>ABS樹脂、ポリアセタール、 ポリフェニレンサルファイド、ポリエチレン <金属材料>しんちゅう、ステンレス、銅 <ゴム材料>EPDM、NBR、フッ素ゴム
使用可能な 最小動水压	0.05MPa(動水压)
水栓使用水压	0.05MPa(動水压)～0.75MPa(静水压)
耐熱温度	60℃
吐水流量	5.0L／分以上<0.2MPa(静水压)時>
! 使用上の注意	●製品の破損や変形による水漏れ事故防止のため、湯をご使用の場合は60℃以下で使用してください。 ●凍結させないでください。 ●給湯器などの能力によって吐水温度、吐水量の変化があります。使い始めには、水温を確かめてから使用してください。 ●吐水口に汚れが付着した場合は、汚れを除去し、10秒以上通水してから使用してください。 ●水栓を拭くときは、必ずやわらかい布を使用してください。

保証書

無料修理規定

- 取扱説明書にしたがった正常な使用・維持管理状態で保証期間中に故障した場合、無料修理いたします。
 - 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、ご購入店又は当社にご依頼のうえ、出張修理に際して本書をご提示ください。
 - ご転居、ご贈答品などで本書に記載のご購入店に修理を依頼できない場合、当社にご相談ください。
 - 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
 - 使用・維持管理上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - 周辺設備の追加・改造に起因する製品及び周辺設備の故障及び損傷。
 - 温泉水、中水、井戸水利用による故障及び損傷。
 - お買い求め後の取付場所の移動及びそれに伴う落下などによる故障及び損傷。
 - 火災、地震、水害、落雷、凍結、結露、公害などの自然現象や住環境に起因する不具合。
 - 砂やゴミかみによる不具合及びパッキン類・逆止弁・セラミックバルブなど消耗品の劣化に起因する不具合。
 - 汚れや経年劣化による色あせなどの外観上の不具合、通常のお手入れ不足による不具合。
 - 本書の提示がない場合。
 - 本書にお客様名、ご購入店名、お買い上げ日の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - 本書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan)
 - 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
- ※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて保証をお約束するものです。従って、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後においてもご不明な点は、当社までお問い合わせください。

お名前	品名 キレイスト シングルレバー洗面混合水栓 (WU)
ご住所 〒	
ご購入店名	
お買い上げ日 年 月 日	
保証期間 お買い上げ日から2年間 ※消耗品は除く	

株式会社 タカギ

■施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。

■ここに示した「安全上のご注意」は状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

■施工完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また、取扱説明書はお客様で保管いただくように依頼してください。

■給排水管工事は専門業者でお願い致します。

安全上のご注意

製品を安全に正しくお使いいただく前に

施工前に「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく設置してください。

絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を守らずに誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定されている内容を示しています。



注意

この表示を守らずに誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定されている内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



○記号は、してはいけない
「禁止」内容を示しています。



●記号は、必ず実行していただく
「強制」内容を示しています。



○記号は、触れてはいけない
「接触禁止」を示しています。

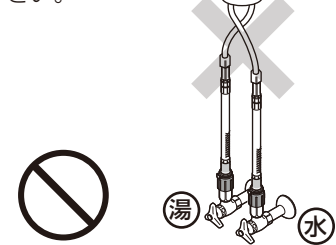


警告

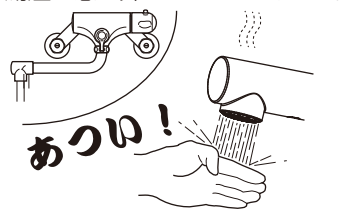
- ・本品は屋内設置用です。屋外では使用しないでください。
- ・必ず製品に付属の部品を使用して施工してください。
- ・修理技術者以外の人、は、水栓内部を分解しないでください。
- ・この説明書に記載された項目以外には分解・改造しないでください。

やけどをするおそれがあります

湯水を逆に配管しないでください。



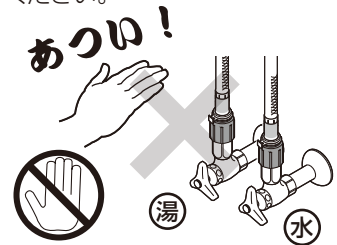
他所の水栓の使用などにより水圧変動が起こり、湯を使用中に湯温が急上昇することがあります。



給湯に蒸気を使用しないでください。

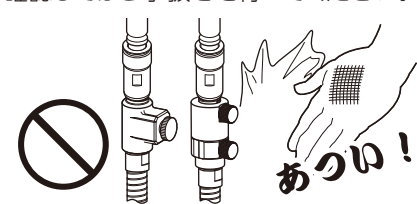


湯側の配管には手を触れないでください。



やけどや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります

水抜き継手（または逆止弁付き水抜き継手）は水抜き以外の目的で開けないでください（寒冷地仕様のみ）。また、湯側の水抜きをする場合は、事前に湯側で吐水して、高温の湯が出ないことを確認してから水抜きを行ってください。



注意

故障の原因になります

給湯温度は60℃以下で使用してください。60℃を超える高温でご使用になると製品の破損や変形により、機能を損なうおそれがあります。



水漏れで、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります

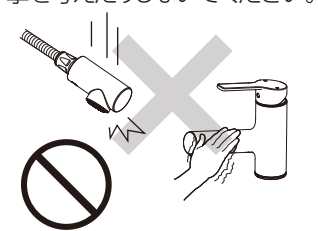
新設の場合、水栓を取り付ける前に、給水側・給湯側配管内のゴミなどを完全に洗い流してください。



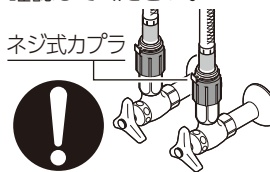
注意

水漏れで、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります

製品を落としたり、強い力や衝撃を与えないでください。



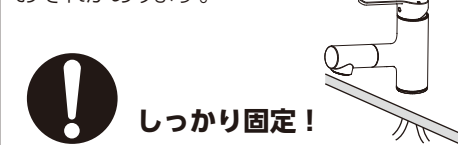
止水栓にネジ式カブラを取り付けた際、接続部などから水漏れがないことを確認してください。



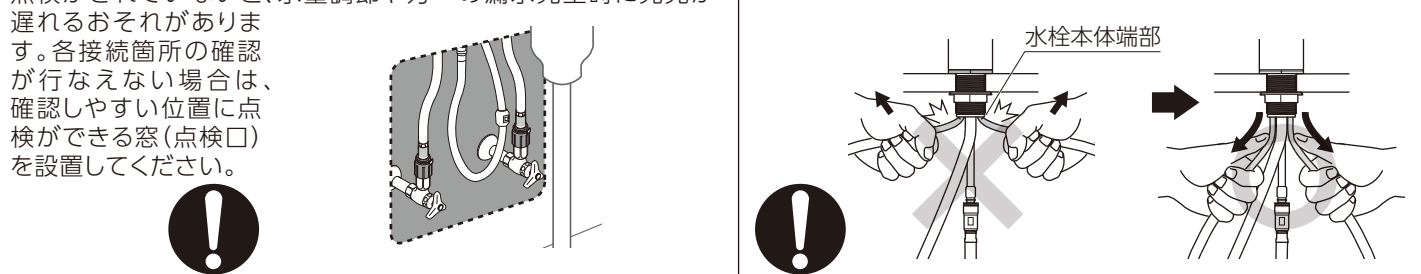
高水圧地区では減圧弁を設置してください。



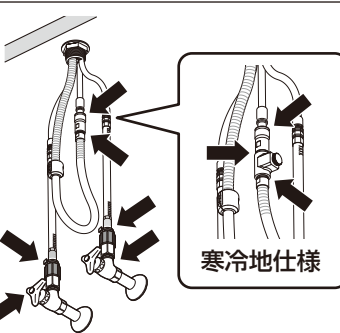
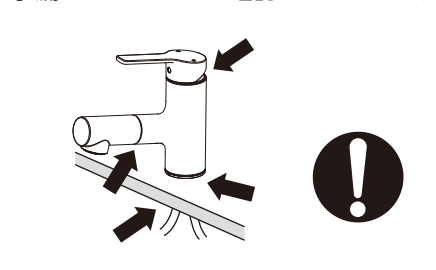
水栓及び各接続部は浮きや緩みがないように、しっかりと固定してください。各接続部が確実に固定されていないと水栓が傾いたり、水漏れが発生するおそれがあります。



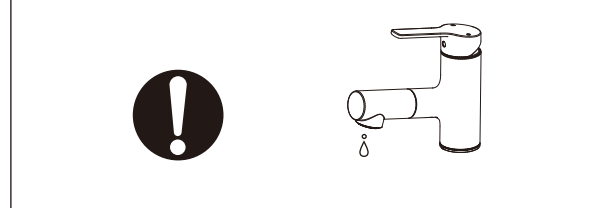
定期的な止水栓取り付け箇所や給水管、給湯管との接続箇所の点検がされていないと、水量調節や万一の漏水発生時に発見が遅れるおそれがあります。各接続箇所の確認が行えない場合は、確認しやすい位置に点検ができる窓（点検口）を設置してください。



施工完了後は、水栓及び各接続部から水漏れのないことを確認してください。

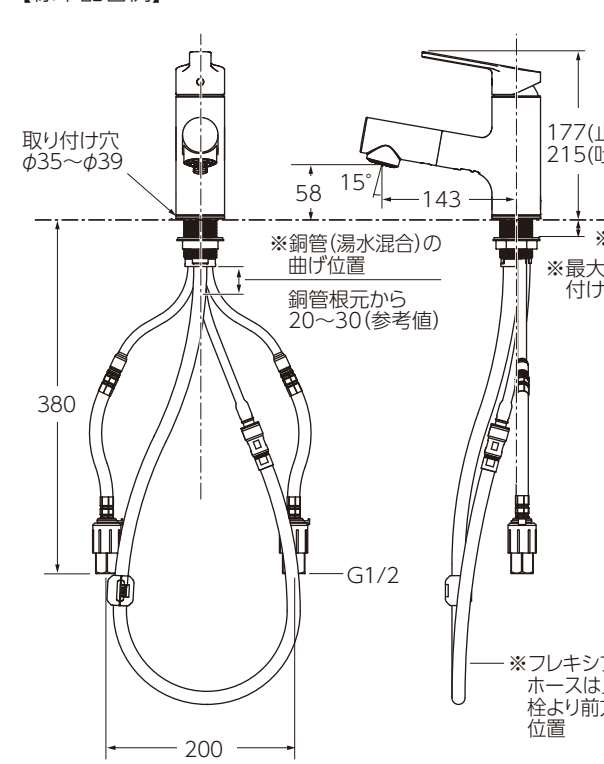


冬期に施工完了し、お客様にお引き渡しするまでの間、凍結による破損が予想されますので、水抜きなどの予防処置を行ってください（水栓に水抜き構造のあるものは水を抜いておいてください）。



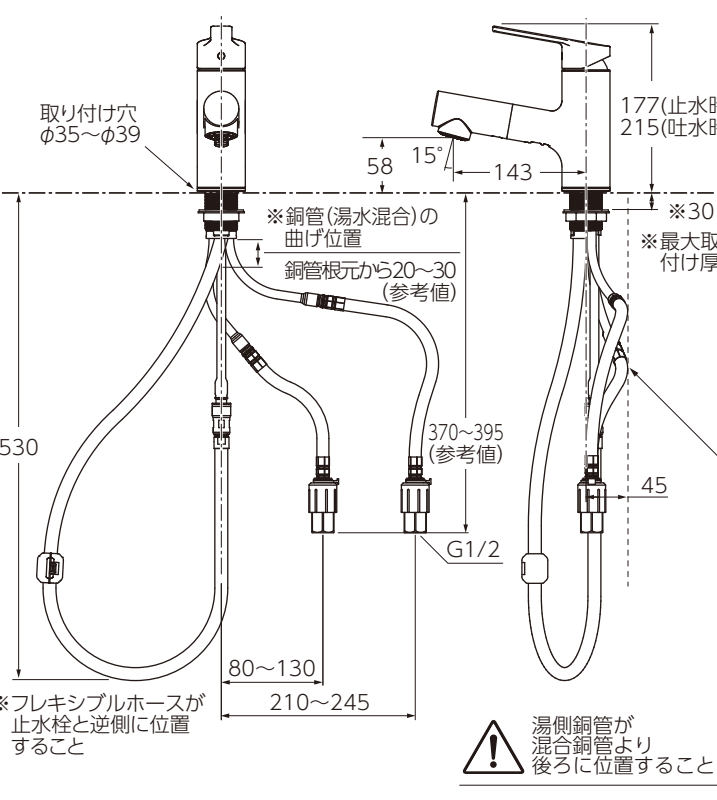
外観寸法図

【標準配管例】

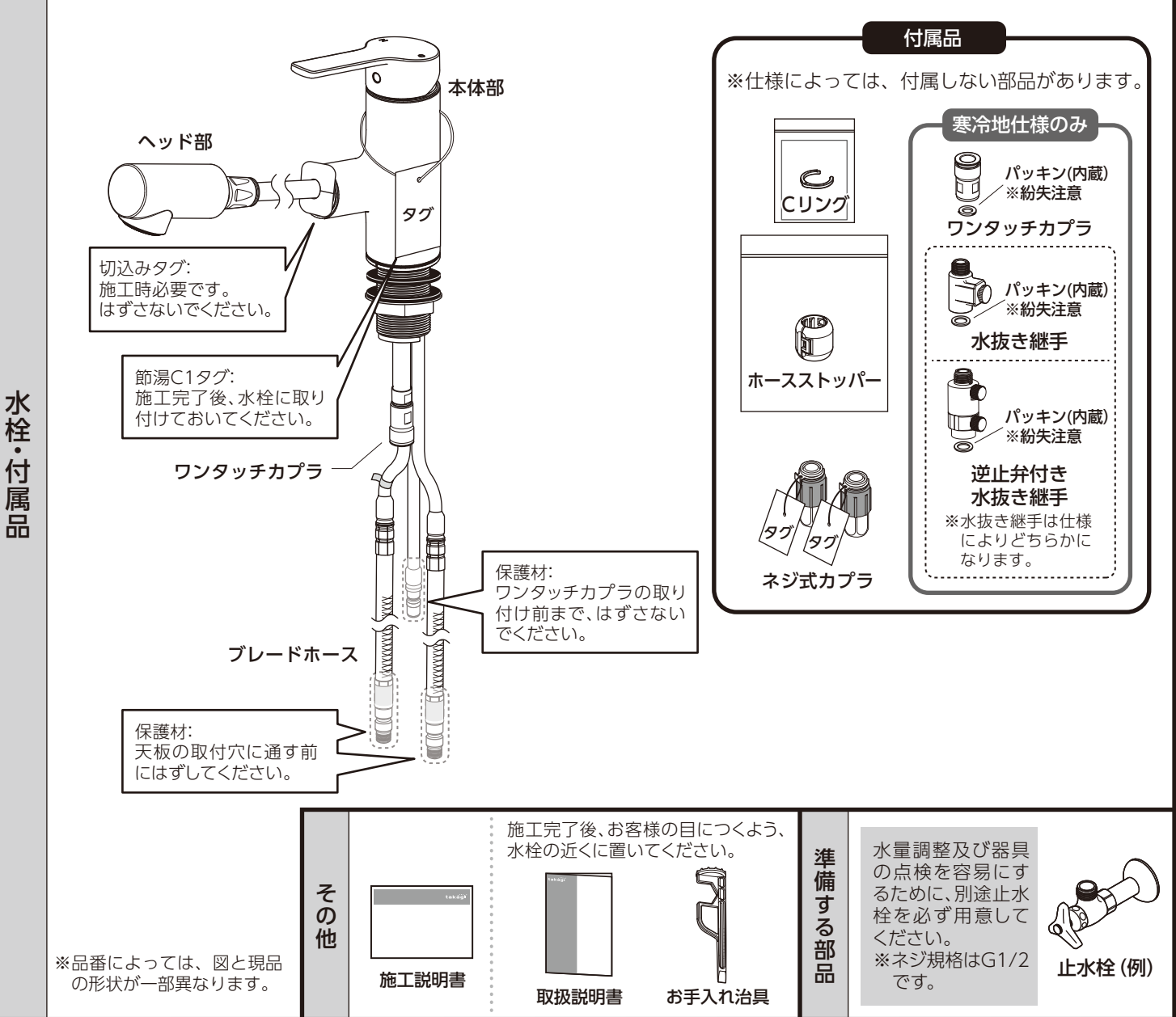


【オフセット配管例】

※ブレードホース長さ違いの場合



部品の確認



1-②水栓固定ナット、ワッシャー、パッキンを取りはずす

ワンタッチカブラを右図の位置（固定ネジの下）にして、水栓固定ナット、ワッシャー、パッキン1枚を固定ネジからはずしてください（もう1枚のパッキンは残しておきます）。ブレードホース先端の保護材も取りはずします（その他の保護材は、はずさないでください）。

※ワンタッチカブラが右図の位置にないと水栓固定ナット、ワッシャー、パッキンが取りはずせません。

※切込みタグはフレキシブルホースからはずさないでください（締め付けナットが本体部に入り込むと取り出しにくくなります）。

※寒冷地仕様の場合、ワンタッチカブラはフレキシブルホースに接続されていません。フレキシブルホースの末端が図のワンタッチカブラの位置となります。

1-③本体部の取り付け

本体部の下面にパッキン1枚（※1）が付いていることを確認し、ワンタッチカブラを右図の位置（固定ネジの下）にした状態で、天板の取付穴に本体部を差し込みます。

パッキン、ワッシャー、水栓固定ナットの順に本体部に通し、水栓固定ナットを矢印の方向に締め込み、固定ネジに仮止めします。本体下部の凹部が正面を向くように合わせたあと、水栓固定ナットを十分に締め込み、スパウトホルダーおよびレバーハンドルが左右に動くことを確認してください（微調整の際は、水栓固定ナットを少し緩め調整してください。調整後は混合栓用締付工具で増し締めしてください）。

※ワンタッチカブラが右図の位置にないと水栓固定ナット、ワッシャー、パッキンが取り付けられません。

※切込みタグは、図の位置に付け替えると施工しやすくなります。また、切込みタグはフレキシブルホースからはずさないでください（締め付けナットが本体部に入り込むと取り出しにくくなります）。

※寒冷地仕様の場合、ワンタッチカブラはフレキシブルホースに接続されていません。フレキシブルホースの末端が図のワンタッチカブラの位置となります。



注意

破損の原因となります
水栓固定ナットを締め込んだ状態で向きの調整をしないでください。



注意

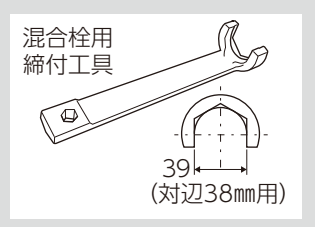
天板に本体部を取り付ける際、不安定な場合は「あて木」などで補強を行ってください。



注意

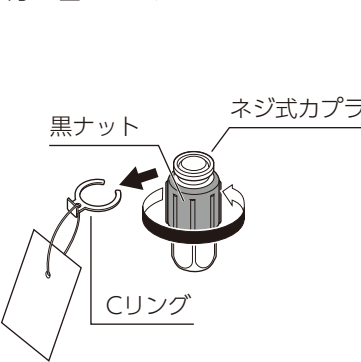
水漏れで、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります

水栓固定ナットは混合栓用締付工具を使用して、しっかりと締め込んでください。



1-④止水栓にネジ式カブラを取り付ける

①ネジ式カブラのCリングをはずし、黒ナットを「ゆるむ」方へ回します。



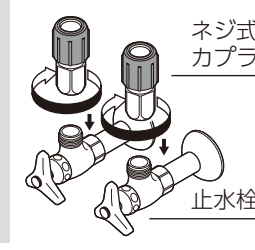
②止水栓にネジ式カブラを取り付けます。
※ネジ式カブラは平行ネジ（Gネジ）です。
※止水栓がテーパネジ（Rネジ）の場合は、テーパネジ（Rネジ）用アダプターを使用してください。



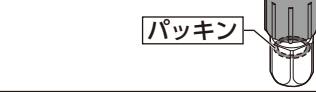
注意

水漏れのおそれがあります

平行ネジにはシールテープを巻かないでください。止水栓にネジ式カブラを取り付けた際、十分にネジ式カブラが締め込まれているか確認してください。



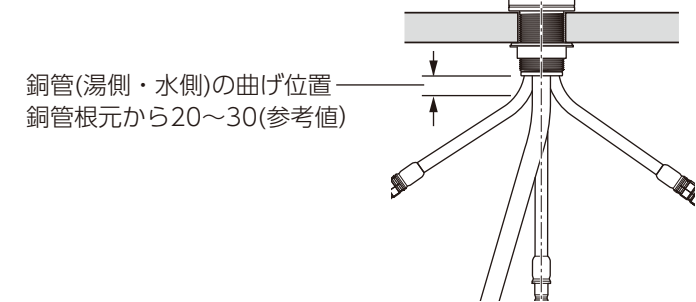
ネジ式カブラの中のパッキンが脱落していないか確認してください。



【要確認】
通常仕様……逆止弁あり
寒冷地仕様……逆止弁なし
逆止弁

1-⑤銅管(湯側・水側)を曲げてネジ式カブラとブレードホースを接合する

①銅管(湯側・水側)を銅管根元から20～30mmの位置で曲げます。



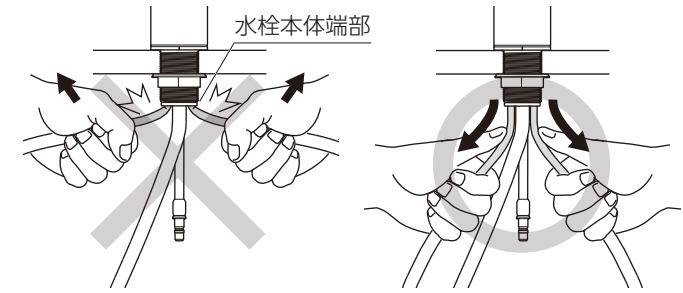
②ブレードホースを、ブレードホースに貼られているシールの白い線までネジ式カブラに差し込みます。

③ネジ式カブラの赤いシールが見えなくなるまで黒ナットを締めます。

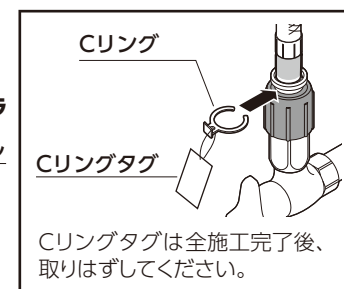
銅管を曲げる際の注意点

注意 水漏れで、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります

銅管を曲げる際は、銅管が水栓本体端部で折れ曲がらないよう指を添えるなどしてゆるやかに曲げてください。



④Cリングをネジ式カブラの青色の溝にハマ込みます。



完成図

ブレードホースを、ブレードホースに貼られているシールの白い線まで差し込んでいる。

ネジ式カブラの青色の溝にCリングがはまっている。

赤いシールが見えない位置まで黒ナットが下がっている。

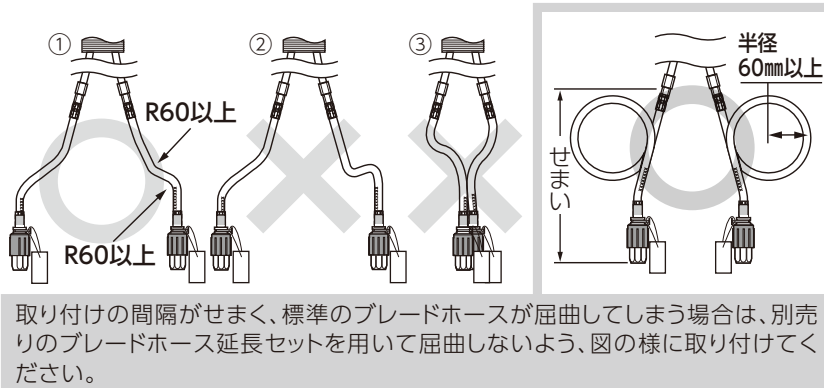
注意 水が出なくなるおそれがあります

ブレードホース(湯側・水側)の施工上の注意点

①ブレードホースの折れに注意してください。ブレードホースを最小曲げ半径(60mm)よりも小さく曲げて使用すると、ブレードホースが折れることがあり、折れた部分で早期破壊を生じる可能性があります。施工時には最小曲げ半径(60mm)よりも小さく曲げないように、注意してください。

②ブレードホース端面から極端に屈曲して、施工しないでください。

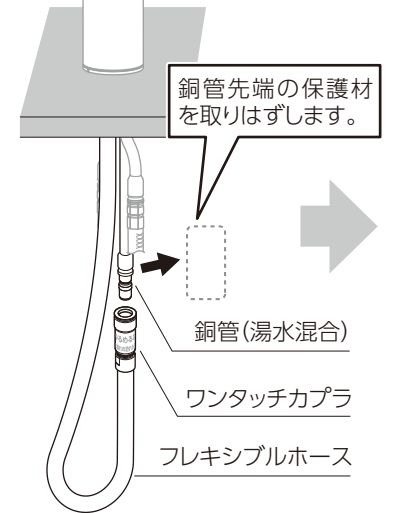
③ブレードホース同士の不要な接触は避けてください。外部補強層の摩耗による外傷でブレードホースの性能が劣化するおそれがあります。



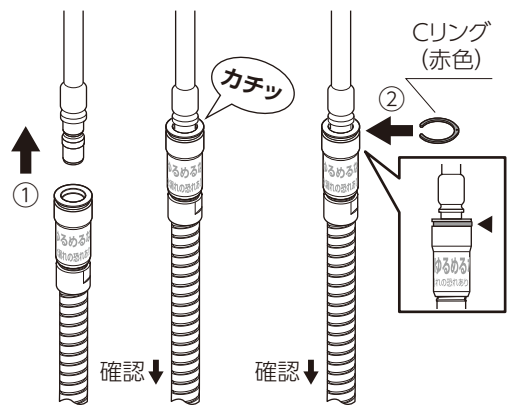
取り付けの間隔がせまく、標準のブレードホースが屈曲してしまう場合は、別売りのブレードホース延長セットを用いて屈曲しないよう、図の様に付けてください。

1-⑥フレキシブルホースを吐水口側の銅管(湯水混合)に取り付ける

①フレキシブルホースを洗面台下に引き出して、銅管(湯水混合)にワンタッチカブラを接続します。



ワンタッチカブラと銅管の接続方法



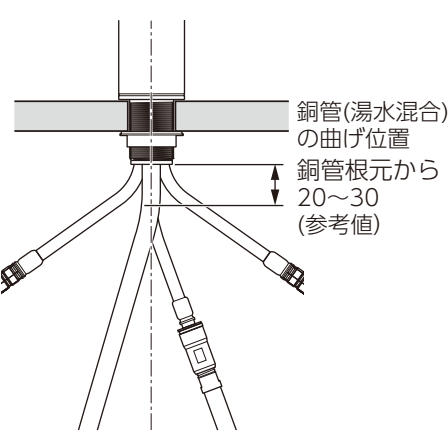
①銅管にワンタッチカブラをカチッと音が出るまで確実に差し込んだあと、フレキシブルホースを引っ張ってはずれないことを確認します。

②Cリングをワンタッチカブラに取り付けます。Cリングの取り付けは、必ずワンタッチカブラと銅管を接続したあとに行ってください。先にCリングを取り付けるとワンタッチカブラを銅管へ接続できません。Cリングを取り付けたあと、フレキシブルホースを引っ張ってはずれないことを再度確認します。(接続が不完全な場合、漏水の原因となります)

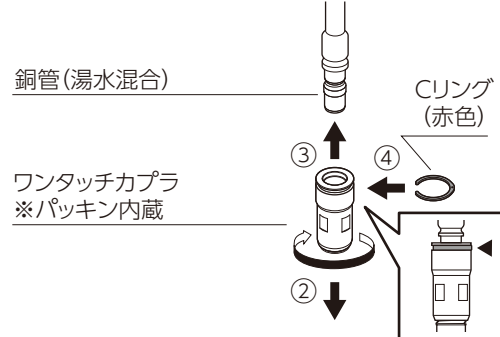
注意 漏水の原因となります

●必ず上記の手順に従って、Cリングをワンタッチカブラに取り付けてください。●接続後は必ずフレキシブルホースを引っ張って、はずれないことを確認してください。

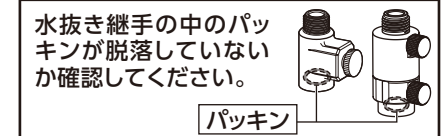
②銅管(湯水混合)を正面からみて右に曲げます。



寒冷地仕様の場合



①フレキシブルホースに水抜き継手を回して取り付けます。



水抜き継手の中のパッキンが脱落していないか確認してください。

②水抜き継手にワンタッチカブラを回して取り付けます。

ワンタッチカブラの中のパッキンが脱落していないか確認してください。

③銅管にワンタッチカブラをカチッと音がするまで確実に差し込んだあと、フレキシブルホースを引っ張ってはずれないことを確認します。

④Cリングをワンタッチカブラに取り付けます。Cリングの取り付けは、必ずワンタッチカブラと銅管を接続したあとに行ってください。先にCリングを取り付けるとワンタッチカブラを銅管へ接続できません。Cリングを取り付けたあと、フレキシブルホースを引っ張ってはずれないことを再度確認します。(接続が不完全な場合、漏水の原因となります)

注意

水漏れのおそれがあります

フレキシブルホース、水抜き継手、ワンタッチカブラの接続には適切な工具を使用し、締め込み後は充分に締め込まれているか確認してください。

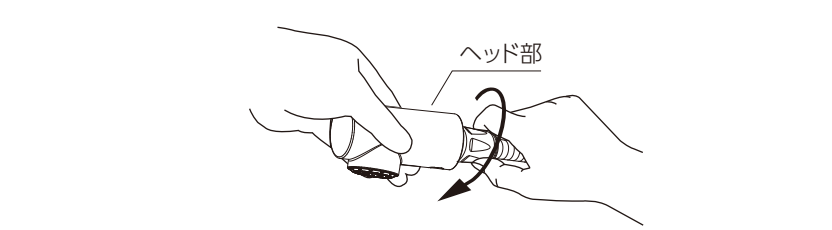
漏水の原因となります

接続後は必ずフレキシブルホースを引っ張って、はずれないことを確認してください。

1-⑦水道配管の止水栓を開ける

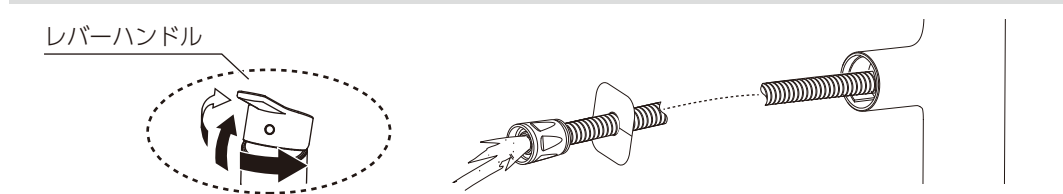
レバーハンドルが閉じていることを確認してから、配管部および洗面台下の止水栓(湯側・水側)を開けます。

1-⑧ヘッド部を固定して締め付けナットを回して取りはずす



1-⑨給水管内のゴミなどを洗い流す

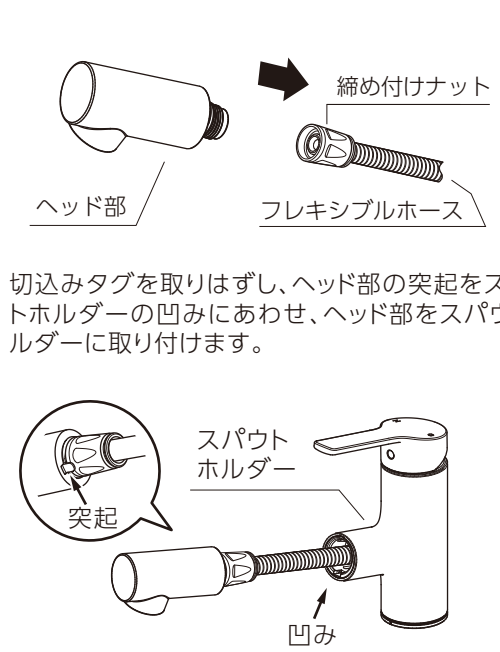
レバーハンドルを上げて左右に振り、給水・給湯管内のゴミなどを完全に洗い流してください。その後レバーハンドルを下げて閉じてください。



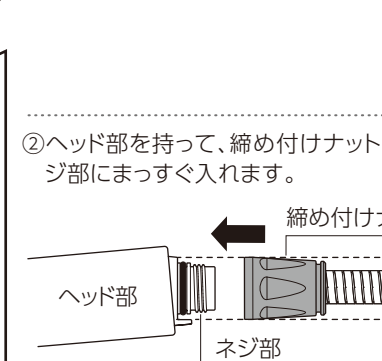
注意

吐水が飛び散らないよう注意してください。

1-⑩ヘッド部を取り付ける



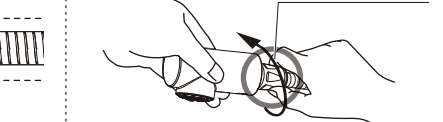
①締め付けナットを引っ張り、ネジ部のミゾが見える状態にします。



②ヘッド部を持って、締め付けナットをネジ部にまっすぐ入れます。



③ヘッド部を固定して締め付けナットを回転させて取り付けます。



注意 締め付けナットは斜めに取り付けられないでください。ヘッド部側のネジ山が削れて故障や水漏れの原因になります。

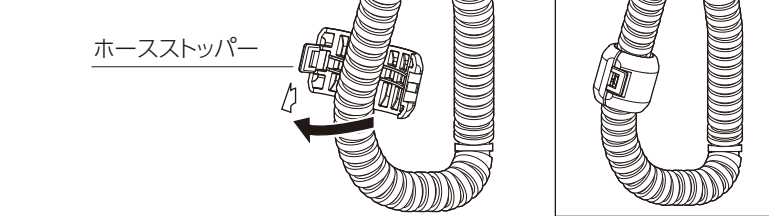
注意 ●フレキシブルホースを回転させて取り付けるとフレキシブルホースがねじれ、故障の原因になります。●故障の原因となるため、工具を使って締め付けしないでください。

1-⑪ホースストッパーを取り付ける

〈ホースストッパー設置位置の目安〉

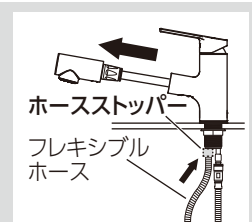
設置位置一覧表		
	フレキシブルホースの長さ	設置位置(A)
通常仕様		460mm
寒冷地仕様	1,030mm	470mm
寒冷地仕様(逆止弁付き水抜き継手)		470mm

フレキシブルホースをさみ込みます。



【取り付け上の注意】

ヘッド部の引き出しすぎにより、フレキシブルホースが元の位置に戻らないおそれがあります。フレキシブルホースが元の位置に戻るよう、引き出し長さをホースストッパーで調節してください。



2.取り付けが終わったら

2-①引き出し・収納がスムーズに行えるか確認する

ヘッド部の引き出し、収納を数回行い、正常に戻ることを確認してください。スムーズに出し入れ出来ない場合は、フレキシブルホースが給水・給湯の銅管部などに干渉している可能性があります。位置を調整してフレキシブルホースの通る空間を確保してください。



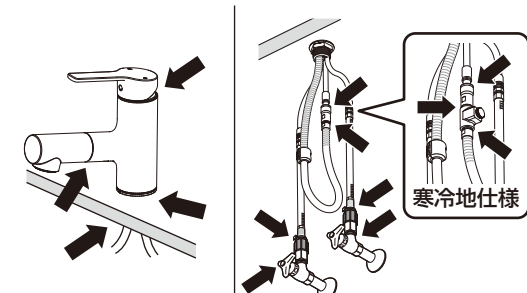
2-②止水栓で吐水量を調節する

使用時、水側全開および湯側全開のときの吐水量が最適となるように水側・湯側の2つの止水栓を調節してください。



2-③各接続部の水漏れがないかを確認する

施工完了後は、配管接続部、ネジ式カブラおよび水栓から水漏れのないことを確認してください。

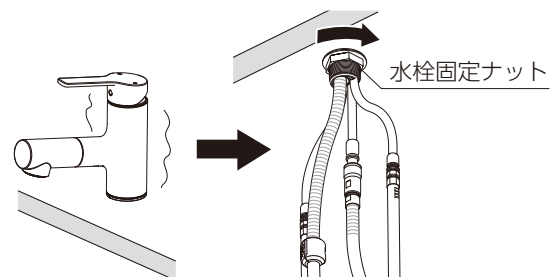


2-④本体部がガタついていないかを確認する

施工完了後、本体部にガタつきがある場合は、水栓固定ナットを回し、締め込んでください。

施工完了後、取扱説明書・施工説明書・お手入れ治具はお客様の目につくよう、水栓の近くに置いてください。

施工完了後、節湯C1タグは本体に取り付けておいてください。



免責事項

以下の事項にて発生した損失や損害に対して株式会社タカギは一切責任を負うものではないことをあらかじめご了承ください。ご利用はお客様の責任で行っていただきますようお願いいたします。

- 施工説明書などに基かない施工、専門業者以外による移動・分解・改造などに起因する不具合。
- 建築躯体の変形(強度不足・ゆがみ)など製品本体以外の不具合に起因する製品の不具合。
- 電気・給水などの供給で指定された以外の環境に起因する故障および損傷。
- 自然現象や住環境に起因する結露、染み出し・かびなどの現象。
- 水道に関する国の基準(水道法)に定められた水質基準に適合しない水を給水したことに起因する不具合。

■アフターサービスについて

破損した部分の交換や設置、使用上のご不明な点など、本商品に関する事柄は、当社までお問い合わせください。

■商品に関するお問い合わせは

タカギ・コミュニケーションセンター ミズほよい水 受付時間 8:30～18:00(年中無休)
*受付時間外でも、修理など緊急の際は音声ガイダンスより専用番号をご案内いたします。

通話料 0120-328-413

株式会社 タカギ
https://www.takagi.co.jp/